

小学校外国語活動を生かした指導

(その1)

～小学校外国語活動の実際を知る～

中学校においては、小学校での**外国語活動の内容や成果等を踏まえた**英語の授業を行うことが求められています。

今後、このHPで、外国語活動を生かした指導の具体例を紹介していきたいと思いますが、まず今回は、外国語活動の内容と成果について確認します。

1 外国語活動について

(1) 外国語活動の目標・内容

まずは、これを理解
しましょう。

目標

外国語活動（小学校）	外国語（中学校）
外国語を通じて	外国語を通じて
言語や文化について 体験的に 理解を深め	言語や文化について理解を深め
積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り
外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら	聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。
コミュニケーション能力の 素地 を養う。	

「聞く」「話す」音声中心の活動

「聞く」「話す」+「読む」「書く」活動

コミュニケーション能力の素地とは？

スキルの向上を目指したものではありません。

イメージ画



[外国語活動の内容]

- (1) コミュニケーションに関する事項
 - ①外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。
 - ②積極的に外国語を聞いたり、話したりする。
 - ③言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知る。

(2) 言語と文化に関する事項

- ①外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむ日本語との違いを知る。
- ②日本と外国との生活、文化等の違いを知る。
- ③異文化交流等を体験する。

(2) 外国語活動の授業

導入でのあいさつ、チャンツや歌、終末での振り返り以外は、ほぼ次のような活動をゲーム的な要素を取り入れながら行なっています。

1	聞く活動
2	口まねする活動（覚えることが目的ではありません。）
3	記憶し自分のものにする活動
4	自分の意志で選んで発話する活動

1 単位時間に、この中から1～2つ選び活動していることが多いです。

※ なお、詳細は教科の部屋 外国語活動 をご覧ください。

2 生徒の変化

小学校で外国語活動を経験してきた生徒に次のような変化が見られます。

(1) 音声を使った活動等に慣れてきている。

外国語活動は「～することができる」ことを目指すものではありませんが、音声中心の活動をとおし、次の力がついてきています。

- ・ 英語（語、文）を聞いて理解する力
- ・ 語彙力（特に名詞）・・・あくまでも音として

(2) コミュニケーションへの積極性がある。

- ・ A L Tとの会話に怖気づいたり、失敗を恐れたり…という姿が少なくなりました。
- ・ どう伝えていいかわからない場面でも、ジェスチャーを使うなどして、なんとか相手に伝えようとする姿が見られるようになりました。

(3) 自分のことを表現すること活動に慣れている。

- ・ I、youを主語にした文章を使った活動にはとても慣れています。
- ・ 文法ベースで授業が展開されていないので、子どもが話したいこと、子どもが聞いたいことを中心とした活動が行われています。

その他の特徴

文や語句をひとかたまりととらえて、認識しているケースが多いです。

例) I like や What do you want to be? でひとまとまりとしてとらえている。

理屈では覚えていません。 (want がどういう意味かは知らずに)

これらは一般的なものなので、実際に、自校の中学校区の小学校で行われている外国語活動の様子を知っておく必要もあります。

これから、小学校外国語活動を生かした指導の具体例を、隨時紹介したいと思います。